

戦争への道を歩む

岸田政権にNO

耶麻喜多方地区

平和フォーラム

岸田政権は平和主義をうたう憲法を横目に、再び戦争への道を歩むのが。国会での議論もなく増税による防衛力強化や敵基地攻撃能力(反撃能力)の保有に道筋を付けた閣議決定が12月16日に行われました。

岸田政権は国民に議論を起さず、見えないところで進めており、唐突な印象を受けます。

子育て・教育支援には「財源がない」といつつ防衛費は手段を尽くして拡大させる。

今年の出生数は80万人を切って過去最少を更新する見通しであること指摘しておきたい。

福島県平和フォーラム では県民大集会への参加と集会開催に向け た呼びかけ並びに賛同 金を募っています

2011年3月11日に発生した東日本大震災。東京電力福島第一原発事故からまもなく12年目を迎えます。こうした中、政府は2011年4月に、東京電力福島第一原発にたまり続ける「ALPS処理水」の海洋放出処分方針を決定しました。国及び東京電力が漁業関係者と交わした「トリチウムを含む処理水は、関係者の理解なしには、いかなる処分もしない」との約束を反故にする決定は、信頼関係を断つ重大な過ちです。「ALPS処理水」の海洋放出については、2023年夏から秋の実施に向けて、国と東京電力は準備を進めています。

国は、「ALPS処理水は薄めて放出すれば大丈夫」という「安全性」を強調し、一方的な国の考えを押しつける活動を強めています。

海洋放出によって放射性物質を再び環境内に放出することは、これまで生産者が行ってきた放射能低減の取り組みや、「モニタリング調査を重ね、安全性と信頼の回復に努力してきたことを根底から覆す行為であり、風評の問題のみならず、世代をまたぎ将来にわたる生業の維持、継続の問題です。

また、福島では未だに2万7千人以上の県民が不自由な避難生活を強いられ、住民生活や風評被害による生産者や事業者の再建や復興、子どもを中心とする健康被害、汚染水の海洋放出や除染廃棄物の処理問題等々課題が山積みです。

集会実行委員会は、「国と東京電力が最後まで責任を持って対応すること」「東電福島第一・第二原発の安全かつ着実な廃炉」などを求めるとともに、「この集会を通して福島の実相を発信していきます。

福島県平和フォーラムは「2023原発のない福島を」の実行委員会事務局を担いながら、集会成功に向け取り組みをすすめています。(案内文参照)

- 賛同金のお願い
- 個人1口1000円
- 団体1口5000円
- FAX またはメールで氏名住所連絡先を明記の上送信ください

災害復旧は長期化



喜多方市 山都町 相川 本木地区

昨年8月の豪雨災害は住宅への土砂流入で生活の場を追われた方がいたほか、「JR鉄橋の橋脚桁の崩落や喜多万里沢間の国道法面の大規模崩落更に農業用施設や耕地に多数の被害をもたらしました。当初は翌年の耕作に間に合わせることに期待が持たれましたが、ほとんどの工事が翌年度以降になる状況です。国の激甚災害の指定を受けて高率補助が受けられるほか自治体によつては上乗せ補助で負担軽減に努めています。燃料や肥料の高騰により耕作断念も避けられない箇所も多く懸念されています。

編集後記

●旧統一教会と政治家との関係究明が不十分なまま、いつの間にか軍事予算とその財源問題にすり替えられての連日報道
●国民は守らず「国」を守る事柄は先の大戦で証明済●国民を守る食糧の自給率向上と、伐期を過ぎた国内森林資源をエネルギー源としての活用に転じてほしい●山に入ることとは山を守ること、人と獣の住み分けを確かめ合つことでもある

2023原発のない福島を! 県民大集会

とき 2023年3月19日(日) 午後1時開会(開場12時)

ところ パルセイざか (福島市飯坂町)

〒960-0201 福島市飯坂町字筑前27-1 TEL 024-542-2121

主催 「2023原発のない福島を」県民大集会」実行委員会

〒960-8105 福島市仲間町4-8 ラコパふくしま4階

TEL:024-522-6101 FAX:024-522-5580

E-mail: fh-forum@gaea.ocn.ne.jp